

「孔雀と蝶」展

— 風と喜 —

鳳凰の原型ともいわれ神聖な鳥の一つ「孔雀」。美しくまるで装飾のようなその姿は神の化身とも信じられ、季節を支配する風の神とも言われました。そして「蝶」。

私たちの身近で季節の喜びをひらひらと教えてくれる蝶は、イモムシから蛹となりそして蝶になります。美しく変化する姿は復活の象徴でもあり、公家の家紋としても用いられました。

孔雀と蝶。実在するのに幻想かのような存在「孔雀と蝶」。その強く儚なきを着物という布で表現した孔雀の作品「花鳥風月」「神羅万象」を中心に蝶の新作をご覧くださいませ。

出展作品

- 綺麗さび・花鳥風月 203×238
- 神羅万象 244×238
- 花の輪廻(三部作) 180×170
- 綺麗さび・牡丹 190×231
- 藤の宴(三部作)
- 蝶(新作三部作)
- 寿い松 207×100 など

※作品は変更することがございます。ご了承くださいませ。



「神羅万象」



「神羅万象」



掛軸「さくら」



「綺麗さび」花鳥風月



「綺麗さび」牡丹



「花の輪廻」(作三部)



「蝶」(新作三部)



出雲キルト美術館とは

出雲キルト美術館は自然豊かな出雲平野に佇む、日本で唯一のキルトの美術館です。

築二百年の出雲伝統の屋敷を利用した館内では、キルト作家八幡垣睦子のプロデュースによる着物を素材とし、西洋と東洋の手仕事を融合させた作品と共に、室札やインスタレーションを四季ごとに、年4回の展示をご覧いただけます。景観、空間を含めて日本文化や、出雲の心を伝承することをコンセプトとした美術館です。

施設案内

ミュージアムショップ

◇館内ミュージアムショップではオリジナル商品を販売しております。

キルト教室・ワークショップ開催

◇キルト教室、ワークショップの詳細はお問い合わせください。

全国の書店にて発売中!



掲載書籍

◇季刊誌「手づくり手帖」(日本ヴォーグ社より)キルト作家八幡垣睦子の四季ごとの作品と文章が掲載中
◇「和布と手づくり」6号に特集を8ページ掲載中

ミュージアムカフェ 春メニュー

春のお抹茶セット、出雲ぜんざい、ケーキとコーヒセットなど館内カフェがテラス席でお楽しみ下さいませ。



- 入館料**
- 一般：700円 ■高校生以下：500円
 - 団体(10名以上)：600円
 - 年間パスポート：2000円
 - 身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方：一般料金の半額

開館時間 10:00am～5:00pm

定休日 毎週水曜日、第3日曜日(祝日は開館となります)

団体でこ来館の場合 作品説明がご予約いただけます(お電話またはメールにてご予約くださいませ)

